

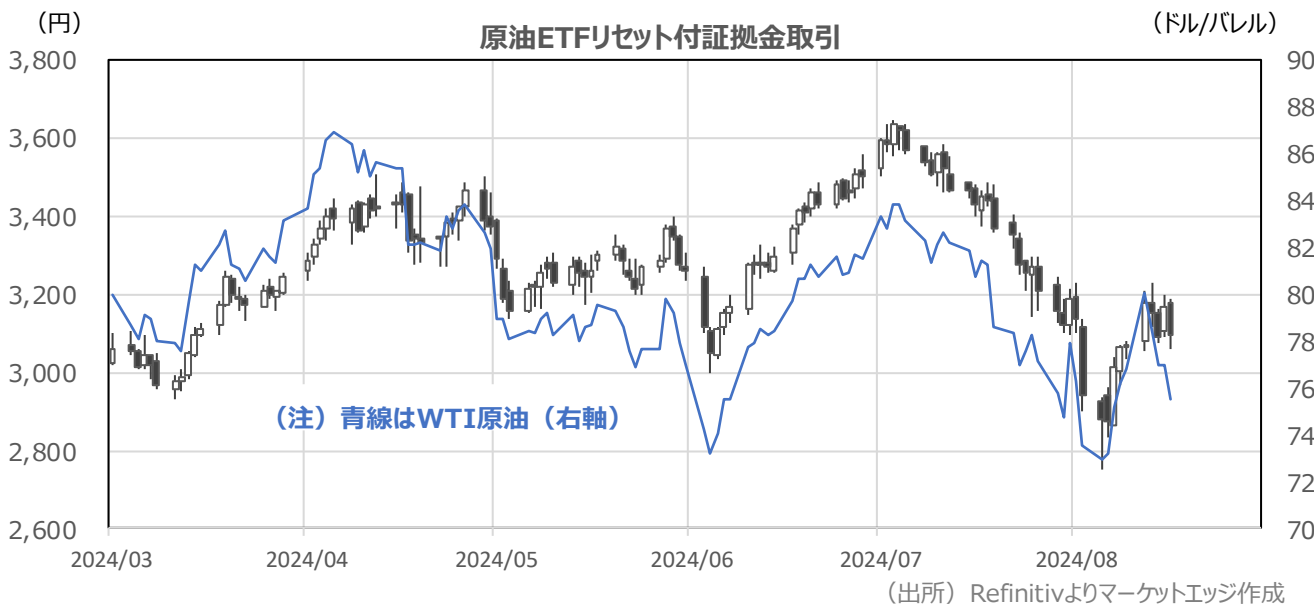
原油ETF証拠金取引 WEEKLY REPORT

2024/08/19号

マーケットエッジ株式会社 小菅努



【現状確認】



戻り高値更新後に急反落、根強い需要不安

NY原油先物相場は、1バレル=80.16ドルまで上昇して7月19日以来の高値を更新した後、75ドル台まで急反落する展開になった。週前半は中東の地政学リスクを手掛りとした買いが膨らみ、上値追いの展開になった。ハマスがイスラエルとの停戦協議を拒否し、先行き不透明感の強さが警戒された。イランがイスラエルに報復攻撃に踏み切る可能性も、引き続き強く警戒されている。ただし、中国経済の減速懸念も強く80ドル台では改めて戻り売りを仕掛ける動きが優勢だった。

石油輸出国機構（OPEC）は、世界石油需要見通しについて、2024年を日量13万バレル、25年を6万バレル、それぞれ下方修正した。中国経済減速の影響が指摘されている。国際エネルギー機関（IEA）も、24年は据え置いたが25年を3万バレル下方修正している。中国の石油化学など産業分野の需要環境悪化が報告されている。石油需要環境に対する不信感が高まる中、OPECとIEAが相次いで石油需要見通しを引き下げたことが、原油相場の地合悪化に直結した。

米エネルギー情報局（EIA）発表の米石油在庫（8月9日時点）は、原油が前週136万バレル増、ガソリンが289万バレル減、石油精製品が167万バレル減となった。

本資料のご利用については、必ず巻末の重要事項（ディスクレーム）をお読み下さい。

原油ETF証拠金取引 WEEKLY REPORT

【展望】

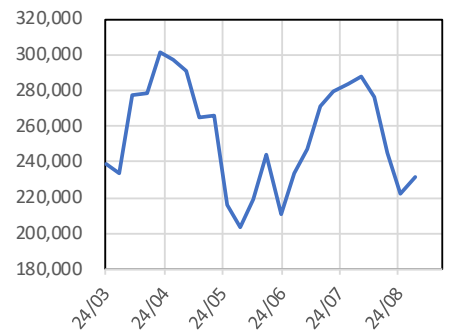
需要不安の上値圧迫が続く、中東情勢には要注意も

中東情勢によって一時的な上振れリスクを抱えるが、需要不安を背景に戻り売り優勢の展開が続く見通し。中国経済の減速傾向が一段と鮮明になる中、石油需要見通しは悪化している。前週はOPECとIEAが相次いで石油需要見通しの下方修正に踏み切っており、中国経済活動停滞の影響が深刻化しているとの見方が支持されている。中国経済に対する評価を大きく変えるような動きがみられなければ、このまま売り優勢の展開が維持される見通し。足元の需給は季節要因からタイト化しているが、夏の行楽需要が一服した後の需給バランスの緩みが警戒されている。70ドル台定着が進もう。

中東情勢に関しては、依然として不透明感が強い。7月30日にイスラエルがイランにおいてハマス幹部を暗殺したことを受けて、イランは報復攻撃を警告している。ただし、イスラエルとハマスの停戦協議が実現した場合には攻撃を見送る可能性もイラン当局者からは指摘されている。そのイスラエルとハマスの停戦協議が8月15日にに行われたが、ハマスはイスラエルの学校などに対する空爆が続いていることを理由に参加を見送った。ただし、バイデン米大統領が合意に「遙かに近づいている」と発言するなど、どの程度のリスクを想定すべきか評価が難しい環境が続く。このため、中東関連のヘッドラインによっては瞬間的に80ドルに迫るような動きも想定しておく必要がある。

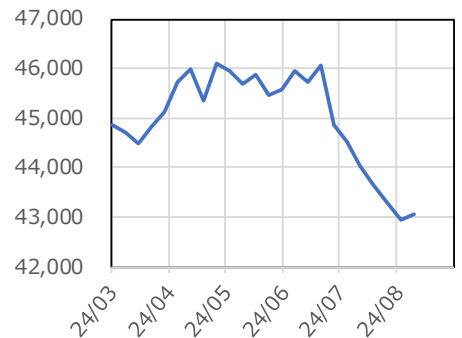
中東情勢次第で瞬間的な上昇リスクを抱えつつ、需要不安の高まりから価格のリスクは下向きになる。売り優勢の地合いが続こう。ただし、70ドル台割れから値を崩していくほどの需給の緩みは、目先数か月といった期間では想定されていない。

(枚) NY原油先物 大口投機筋ネット建玉



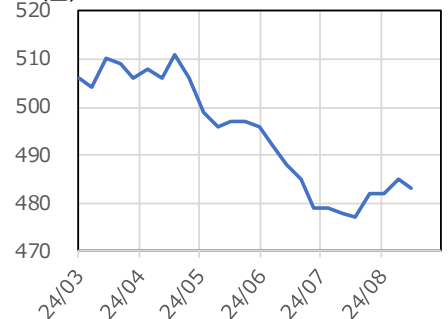
(出所) CFTCよりマーケットエッジ作成

(万バレル) 米原油在庫



(出所) EIAよりマーケットエッジ作成

(基) 米石油リグ稼働数



(出所) Baker Hughesよりマーケットエッジ作成

【ディスクレーマー（免責条項）】

本レポートは、本取引所がマーケットエッジ株式会社から提供を受けて、公表しているものであり、本レポートの内容に関する一切の権利は、マーケットエッジ株式会社に帰属いたします。本取引所は、本レポートの正確性、完全性、適時性等を保証するものではありません。また、本取引所は、本レポートを用いて行う一切の行為及び本レポートに基づいて被った損害について、何ら責任を負うものではありません。

株式会社東京金融取引所

本レポートは、マーケットエッジ株式会社（以下、弊社）が、投資判断の参考となる情報提供を目的に作成したものです。金融商品売買の勧誘を目的としたものではありません。投資に関する最終決定は、投資家ご自身の判断で行って下さい。本レポートは、弊社が信頼できると判断した情報源からの情報に基づき作成したのですが、情報の正確性、安全性を保証するものではありません。また、本レポートに記載された見解や予測は、本レポート発行時における弊社の判断であり、全部または一部が予告なしに変更されることがあります。本レポートを使用することに生ずるいかなる種類の損失についても、弊社は責任を負いません。本レポートの著作権は、原則として弊社に帰属いたします。本レポートにおいて提供される情報に関して、弊社の承諾を得ずに、当該情報の複製、販売、表示、配布、公表、修正、頒布または営利目的での利用を行う権利を有しません。

【会社名】 マーケットエッジ株式会社（Marketedge Co., Ltd.）

【所在地】 〒103-0014 東京都中央区日本橋蛸殻町1-18-1（古川ビル4F）

【URL】 <https://www.marketedge.co.jp/>

【電話】 TEL : 03-6661-9498 【E-mail】 info@marketedge.co.jp

小菅努（こすげ・つとむ）プロフィール

1976年千葉県生まれ。筑波大学社会学類卒。商品先物会社の営業本部、ニューヨーク事務所駐在、調査部門責任者を経て、2016年にマーケットエッジ株式会社を設立、代表に就任。金融機関、商社、事業法人、メディア向けのレポート配信、講演、執筆などを行う。

最新情報は
ツイッターで

